

2023 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅢD (English ⅢD) 113009-14-000					担当教員	広田 秀樹 (ヒロタ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	3 年次	開講期	通年
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
英語の読解力とヒアリング能力の基本を身につけることを目標とする。具体的には、第1に英語の読解力の基本をマスターするための Power Base という「英文法の14の基本公式」を利用したトレーニングを行う。第2に英語の音声をキャッチするヒアリングトレーニング、第3に TOEIC に対応するトレーニングを実施する。授業内容は中級レベルである。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力。
③ 授業の進め方・指示事項
英語学習は、確実な積み重ね型の学習なので、毎回の授業内容の十分な理解と定着が重要である。授業内トレーニング、課題等に意欲的に取り組むこと。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
英語 I
⑤ テキスト（教科書）
学習資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書
Gillian Flaherty, James Bean, 鎌倉義士 (2020) 『聞いて話せる英語演習 Book1』
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 英文読解力の基本事項が理解できること。 (ii) 英語のヒアリングの基本が理解できること。 (iii) TOEIC に関する基本的学習ができること。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 英文読解力の基本事項理解	英文読解の基本事項に関して資料等に頼らず説明でき、授業内容を超えた学修成果を示している。	英文読解の基本事項に関して資料等に頼らず説明できる。	英文読解の基本事項に関して資料等を参照しながら説明できる。	英文読解の基本事項に関して資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	英文読解の基本事項に関して資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(ii) ヒアリング能力基礎	ヒアリング能力を授業内容を超える水準で自力で示すことができる。	ヒアリング能力を自力で示すことができる。	ヒアリング能力を不十分ながら自力で示すことができる。	ヒアリング能力を教員等の支援を得て示すことができる。	ヒアリング能力を教員等の支援を得ても示すことができない。
(iii) TOEIC 基本対応	TOEIC 基本対応に関する能力を授業内容を超える水準で示すことができる。	TOEIC 基本対応に関する能力を示すことができる。	TOEIC 基本対応に関する能力を不十分ながら示すことができる。	TOEIC 基本対応に関する能力を教員等の支援を得て示すことができる。	TOEIC 基本対応に関する能力を教員等の支援を得ても示すことができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	15%	10%			25%		100%
(i) 英文読解の基本事項理解	20%		10%			10%		40%
(ii) ヒアリング能力基礎	20%	10%				10%		40%
(iii) TOEIC 基本対応	10%	5%				5%		20%
フィードバックの方法	試験・小テスト・課題は助言をつけ継続的水準向上につなげる。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
英語は、グローバル化時代に活躍する使命をもつ若者にとって、マスターすべき世界語である。英語学習への意欲が増すような、一流の英文資料を提供して行きたい。

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション・英語の特徴	英語の特徴に関するレポート作成	180 分
2	Power Base とは何か	Power Base 自習課題	180 分
3	Power Base トレーニングⅠ	Power Base 自習課題	180 分
4	Power Base トレーニングⅡ	Power Base 自習課題	180 分
5	Power Base トレーニングⅢ	Power Base 自習課題	180 分
6	Power Base トレーニングⅣ	Power Base 自習課題	180 分
7	Power Base トレーニングⅤ	Power Base 自習課題	180 分
8	ヒアリング・トレーニングⅠ	ヒアリング自習課題	180 分
9	ヒアリング・トレーニングⅡ	ヒアリング自習課題	180 分
10	ヒアリング・トレーニングⅢ	ヒアリング自習課題	180 分
11	ヒアリング・トレーニングⅣ	ヒアリング自習課題	180 分
12	TOEIC 対応トレーニングⅠ	TOEIC 自習課題	180 分
13	TOEIC 対応トレーニングⅡ	TOEIC 自習課題	180 分
14	TOEIC 対応トレーニングⅢ	TOEIC 自習課題	180 分
15	前期まとめ	グローバル・トップレベル・トピックス関連資料に関するレポート	180 分
16	Power Base 応用トレーニングⅠ	Power Base 自習課題	180 分
17	Power Base 応用トレーニングⅡ	Power Base 自習課題	180 分
18	Power Base 応用トレーニングⅢ	Power Base 自習課題	180 分

19	Power Base 応用トレーニングⅣ	Power Base 自習課題	180 分
20	Power Base 応用トレーニングⅤ	Power Base 自習課題	180 分
21	ハイレベル・ヒアリング・トレーニングⅠ	ヒアリング自習課題	180 分
22	ハイレベル・ヒアリング・トレーニングⅡ	ヒアリング自習課題	180 分
23	ハイレベル・ヒアリング・トレーニングⅢ	ヒアリング自習課題	180 分
24	ハイレベル・ヒアリング・トレーニングⅣ	ヒアリング自習課題	180 分
25	TOEIC 対応トレーニングⅣ	TOEIC 自習課題	180 分
26	TOEIC 対応トレーニングⅤ	TOEIC 自習課題	180 分
27	TOEIC 対応トレーニングⅥ	TOEIC 自習課題	180 分
28	英語圏を知るための資料学習Ⅰ	英語圏関連学習資料に関するレポート	180 分
29	英語圏を知るための資料学習Ⅱ	英語圏関連学習資料に関するレポート	180 分
30	まとめ	グローバル・トップレベル・トピックス関連資料に関するレポート	180 分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。講義で毎回の学習課題のコアを理解し、授業外の自習によってそれらコアの徹底した定着をはかる。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性